



いちょうの森だより

いちょうの森こども園 園だより No.87 令和7年7月1日発行
〒709-0721 桜が丘東 3-3-496
TEL:086-956-2022 FAX:086-956-2023

相談しよう、考えよう
ある雨上がりの日のことです。Aさんが大、中、小それぞれの大きさのカタツムリを見つけてきました。「このカタツムリをへやでかいたい」とのことです。「明日の集まりの時にみんなでどうしようか決めるよう」となりました。次の日の朝の集まりに、「かいたい」と満場一致だったため、飼うことになり、名前を決めました。それぞれ「つむつむ」「くりるん」「あめちゃん」と名前をつけ、みんなで世話をしていきました。するとある日、カゴの中にいるはずの「あめちゃん」がいないことに気づきました。「どうやって逃げたのか」をクラスで考え、グループみんなで悩みました。「隙間が狭いから殻を脱いで逃げたんじゃない?」「じゃあ殻を脱いだってことはナメクジになったってことなの?」とこどもたちの発想が、大人では思いつかないような柔軟なものだったので驚きました。

これからもこどもたちから出た、言葉や疑問を受けとめ、こどもと同じ目線で、すぐに答えを出すのではなく、一緒に考えて皆が納得できる答えを探す過程を大切にしたいです。

鈴木 美夕



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichounomori.okayamakodomokyukai.jp/>



いっちょうやるか！（にじ組）

カエルに変身

にじ組に、おたまじゃくしがやってきました。初めはおたまじゃくしが何になるのか知らないにじ組でしたが、だんだんと足や手が生え、カエルになることを知りました。毎日観察し、「あしあるよ」と変化を楽しんでいます。後日、1匹がカエルに変身し、みんなで自然へかえしに行きました。はじめは「すべり台にしよう」と言っていたこどもたちでしたが、「カエルはどこにすんでるかな」と聞いてみると「涼しいところ」「はっぱ」など思いつき、すべり台からひまわりの裏へ変更。「ばいばい」「またきてね」とさよならをしました。残りのおたまじゃくしがカエルになるのが楽しみにじ組です。



にじ組も
おたまじゃくしに変身



クラス自慢（ほし組）

生き物大好き

4月にアマガエルを見つけてから、大事に育てていたほし組。保護者の方から、カエルの卵やおたまじゃくし、カエルをいただいて、みんなで観察しました。足が生えていたり、まだしっぽがあったりなど、いろんな状態のカエルやおたまじゃくしを見て、「すごい」「はじめてみた」と、嬉しそうなほし組。「なんのカエルなんだろう？」と、図鑑と見比べて調べるこどもたち。自分たちで気になったものを調べてみようとする、探究心が育ってきています。

野上 香菜子

今月のうた（つき組）

かたつむり

♪ でんでんむしむし かたつむり
おまへのあたまは どこにある
つのだせやりだせ あたまだせ
でんでんむしむし かたつむり
おまへのめだまは どこにある
つのだせやりだせ めだまだせ



梅雨の時期と言えばこのうたです。右手をチョキ、左手をグーにして合わせると、かたつむりになります。かたつむりは園庭でもよく見かけ、こどもたちにも親しまれています。

井上 隆雄

6月のベストショット（夏といえば）

夏といえば！

梅シロップ作り（そら組）

梅をいただき、そら組で何にして食べるかを考えました。はっぱの部屋で『はじめての梅しごと』という絵本を見つけて読んでみると、梅シロップの作り方が書いてありました。「おいしそう」「つくりたい」ということで梅シロップを作ることに。作る工程は簡単ですが、梅を傷つけないように慎重にビンに入れ、毎日欠かさずピンを振っています。おいしいシロップができるのを心待ちにしているそら組です。

鈴木 美夕



おいしくなあれ！



夏といえば！

プール開き（ほし組）

プール開きで、ぷくぷくという水の妖精がきて、『あるく』『おさない』『とびこまない』の、3つのプールの約束を聞きました。約束を守り、今年度初めてのプールに入りました。水が冷たくてとても気持ちよく「つめたい」「さいこう」と、楽しそうなこどもたちでした。

今年のほし組の目標は伏し浮きができるようになることです。プール納めまでに顔つけなどから始めて、楽しみながらチャレンジしていきたいです。

野上 香菜子



夏といえば！

夏野菜（つき組）

つき組ではキュウリとトウモロコシを育てています。育てる中で「キュウリの花の色は黄色だね」「葉っぱが大きい」などいろいろな気づきがありました。先日収穫して、みんなで食べました。自分たちが育てたということもあってか、味は格別のように「おいしい！」と、喜びもひとしお。

夏野菜を育てていく中で、生長する植物の変化に気付く面白さ、実際に収穫する楽しさ、自分たちが育てたものを味わう喜びを保育者や友だちと一緒に共有していきます。

井上 隆雄





夏と言えば！

色水あそび（にじ組）

コップに赤色を入れ、少しずつ青色を足すと「ピンク」「むらさき」と色が変化しているのに気づきました。それぞれオリジナルのジュースができ、嬉しそう。

ジュースを作った後は自分たちでタライの水にコップを入れ、洗い片付けます。まるで洗い物をするお母さんのようでした。

色水あそびを通して色を作る楽しさや、色の変化の不思議をたくさん経験したいと思います。

竹林 亜純



夏と言えば！

水あそび（ゆき組）

はじめての水あそびをしました。パシャパシャと水に触れ、慣れてくると水たまりに思い切り飛び込んでみたり、泥水をみそ汁に見立ててみたりして、こどもたちの想像力豊かなあそびに微笑ましい毎日です。

水とは違った泥水あそび。「お～！」と初めての感触に驚きもありながら、何度も触っています。しっかりと遊んだあと、こどもたちの中でバンダナを布団にしてお昼寝ごっこが始まりました。あそびの中でも休息をしながら、楽しく健康に過ごしています。

藤田 葵



夏と言えば！

感触あそび（はな組）

室内で感触あそびなどをして過ごしています。片栗粉粘土は最初はサラサラの粉ですが、水を入れると固まる様子を見て、不思議そうな表情のこどもたちです。そっと手を入れて触ったり、顔に粉がついたりしてもかまわず、夢中になってあそびを楽しんでいました。

水あそびをしたり、沐浴で汗を流したりして、暑い季節も気持ちよく過ごしています。

渡中 有紀子

